

工事検査における工種毎等のポイント

〔土木工事編〕

本資料は、今まで工事検査員が検査にあたり確認してきた項目を元に、検査を実施する上でのポイントを取り上げ、簡潔に内容を解説したものです。

よって、検査する上でのポイントをすべて記載しているものではありません。

なお、今後も追加及び改訂を随時行って参ります。

令和 7年 4月

共通仕様書 土木工事編(令和7年1月20日版)

出納局 工事検査課

工事検査における工種毎等のポイント

土木工事編

第1編 共通編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第1章 総 則				
1. 総則	①工事測量及び設計図書の照査	・受注者は、工事着手後直ちに測量を実施し、測量標(仮BM)、工事用多角点の設置及び用地境界、中心線、縦断、横断等を確認し、測量結果を提出しているかを確認。	測量成果	1-1-1-44
		・約款第18条1項第1号から第5号に係わる設計図書の照査を行い、照査結果を書面に提出しているかを確認。	現場地形図、設計図との対比図、取合い図、施工図等	1-1-1-5
	②施工計画書	・受注者は、工事着手前に工事的物を完成するために必要な手順や工法及び施工管理計画等が網羅された施工計画書を提出し、現場ではその作業手順に従い施工されているかを確認。	施工計画書 施工写真	1-1-1-7
	③段階確認検査及び部分使用検査	・不可視部分の出来形等が、事前に監督員等による確認検査を受けているかを確認。	段階確認検査資料	1-1-1-23
		・部分使用を行う場合は、原則として課長等による確認検査を受けているかを確認。	部分使用に係る確認検査結果書、写真	1-1-1-28
	④検査時の提示資料	・検査時に各資材の受払い記録や工事日誌及び産業廃棄物管理票等が持参されているかを確認。	資材納入書・伝票 日誌、マニフェスト	1-1-1-25
⑤後片付け	・設計図書で存置するものを除き、一切の機器、余剰資材、残骸及び各種の仮設物が撤去されているかを確認。	施工写真 現地検視	1-1-1-36	
第2章 土 工 【2-3河川土工・海岸土工・砂防土工】				
1. 施工状況	①土質、岩質の適合	・土及び岩の分類の境界について、施工写真及び監督員段階確認資料等から適切に判断されているかを確認。	施工写真 確認のための資料	1-2-3-1
	②盛土工 (一体化、段切り)	・盛土工の開始にあたり、地盤表面を盛土層厚の1/2の厚さまで掻き起こし、盛土材料とともに締固め、地盤と盛土の一体性を確保しているかを確認。 ・盛土施工で1:4より急な斜面上に盛土をする場合は、現地盤との密着を確保するため段切(最小幅1m、最小高さ0.5m)をしているかを確認。	施工写真	1-2-3-3
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①築堤工 (層厚、現場密度)	・築堤の盛土にあたり、一層の仕上り厚は30cm以下とし、各層毎平坦に締固められているか。 ・構造物の隣接箇所や狭い箇所の盛土にあたり、一層の仕上り厚は20cm以下で締固められているか。	施工写真	1-2-3-3
		・砂置換法、突砂法の場合、現場密度が最大乾燥密度の90%以上(海岸土工や砂防土工は85%以上)となっていることを確認。(3孔/回の平均値)	試験成績書	共通仕様書Ⅱ記載
【2-4道路土工】				
1. 施工状況	①土質、岩質の適合	・土及び岩の分類の境界について、施工写真及び監督員段階確認資料等から適切に判断されているかを確認。	施工写真 確認のための資料	1-2-4-1
	②路体盛土工 (段切り)	・路体盛土施工で1:4より急な斜面上に盛土をする場合は、現地盤との密着を確保するため段切(最小幅1m、最小高さ0.5m(岩盤の場合は、最小幅0.5m、最小高さ0.25m))をしているかを確認。	施工写真	1-2-4-3
	③路床・路体工 (1層仕上厚)	・路床20cm以下(最大粒径10cm程度)、路体30cm以下で締固めを行っているかを確認。	施工写真	1-2-4-3 1-2-4-5
		・構造物の隣接箇所や狭い箇所の路体、路床施工の施工については、仕上がり厚を20cm以下で入念に締め固めていることを確認。		1-2-4-5
④路床工 (ブルフローリング)	・路床盛土が完了した時点で、ブルフローリング(試験転圧)を実施しているかを確認。	施工写真	1-2-4-5	
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①盛土工 (盛土材料)	・適切な含水比の状態で行っているかを確認。 ・土羽土の施工にあたり、法面浸食の恐れのない粘着性のある材料を使用しているかを確認。	施工写真 試験成績書 現地検視	1-2-4-3 1-2-4-5
		②路床・路体 (現場密度)	・現場密度において、路体で最大乾燥密度の90%以上、路床及び構造物取付け部で95%以上となっているかを確認。(3孔/回の最低値) ・現場密度試験が、一部の層だけに偏っていないか。何層もある場合は、上層部だけで実施するのではなく中間層でも実施しているかを確認。	施工写真 試験成績書

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第3章 無筋、鉄筋コンクリート【3-3 レディーミクストコンクリート】				
1. 施工状況	①時間及び気温管理	・練り混ぜから打ち込み完了までの時間が適切かを確認。 (25℃を超える場合で1.5時間、25℃以下の場合で2時間を超えない) ・かつ、コンクリートの運搬時間(練混ぜ開始から荷卸し地点に到着するまでの時間)は、1.5時間以内となっているかを確認。	発送伝票 外気温記録	1-3-6-4
	②コンクリート打設	・打設したコンクリートを、型枠内で横移動させていないかを確認。 ・コンクリートの打設作業に際し、縦シュート、ポンプ配管、バケット及びホッパー等の吐出口と打ち込み面までの自由落下高さは1.5m以下としているか。 また、材料分離がないかを確認。	施工写真 現地検視	1-3-6-4
	③締め固め	・二層以上に分けて打設する場合、バイブレーターを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように締固めているかを確認。	施工写真	1-3-6-5
	④レイタンス処理	・コンクリートを打ち継ぎずる場合は、レイタンスを除去しているかを確認。	施工写真 現地検視	1-3-6-7
	⑤養生	・コンクリート露出面を所定の期間、養生用マット・ぬらした布等で覆うか、散水等を行い湿潤状態を保っているか。 また、コンクリート打込後、適切な養生期間を取っているかを確認。 ※養生期間の目安 コンクリートの湿潤養生期間の目安:表3-3 寒中コンクリートの温度制御養生期間:表3-5 (1-3-10-3)	施工写真 工事日誌	1-3-6-9
	⑥鉄筋工 (保管及び加工)	・鉄筋を直接地表に置くことを避け、倉庫内に貯蔵しているか。 また、屋外に貯蔵する場合は、雨水等の侵入を防ぐためシート等で適切な覆いをしているかを確認。	施工写真 品質証明書	1-3-7-2
		・鉄筋の曲げ加工が、設計図書に示すとおり施工されているかを確認。 ・設計図書に示されない鋼材等(組立用鉄筋や金網、配管など)と他の鉄筋とのあきが粗骨材の最大寸法の4/3以上を確保しているかを確認。 また、鋼材等が所定のかぶりを確保しているかを確認。		1-3-7-3
	⑦鉄筋工 (配筋)	・フーチング、擁壁の主要部分の鉄筋径・規格、鉄筋間隔、かぶり及び重ね合わせ長さが適正に施工されているかを確認。 ・配力鉄筋は主鉄筋の外側に配置されているかを確認。	施工写真	共通仕様書規定外
	⑧鉄筋工 (組立て)	・適切なスペーサー(コンクリート製・モルタル製)を使用しているかを確認。 ・スペーサーが、適正に配置(側面2個/㎡、底面4個/㎡)されているかを確認。 また、鉄筋組み立て完了時の段階検査時に確認を受けているかを確認。 ・鉄筋の浮錆や鉄筋の表面についた泥・油・ペンキ等を取除いてるか。 ・鉄筋の交点の要所をφ0.8mm以上のなまし鉄線やクリップで緊結しているかを確認。	施工写真	1-3-7-4
	⑨型枠工 (締付材)	・コンクリート表面から、2.5cmの間にある型枠締付材(ボルト・棒鋼等)は除去し、その穴を入念に補修(モルタル等)されているかを確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	⑩暑中コンクリート	・日平均気温が25℃を超えることが予想されるときは、暑中コンクリートとして施工しているかを確認。 ・地盤、型枠等がコンクリート練り混ぜ水を吸水する恐れがあるときは、打設前に十分吸水させているかを確認。 ・打設時のコンクリート温度は35℃以下(所定の品質を確保できる場合は38℃以下)で、練り混ぜから打設完了まで1.5時間以内であり、打設後速やかに養生を行っているかを確認。	施工写真 工事日誌 発送伝票	1-3-9-1
				1-3-9-2
	⑪寒中コンクリート	・日平均気温が4℃以下になることが予想されるときは、寒中コンクリートとして施工しているかを確認。 ・AEコンクリートを使用、打設時のコンクリート温度は5～20℃の範囲であるか。 ・地盤が凍結している場合はこれを溶かし、水分を除去後に打設し、打設後の初期に凍結しないよう防護(特に風対策)、養生日数、養生温度が適切であるかを確認。	施工写真 発送伝票 温度管理記録表	1-3-10-1
				1-3-10-2
	⑫マスコンクリート	・水和熱による温度応力及び温度ひび割れに対する検討をしているか確認。 ・打設計画(打込区画、リフト高、継目位置、打込間隔等)を策定し施工しているか確認。 ・計画した温度を超えて打込をしていないか確認。 ・養生時のコンクリート温度を計測・制御しているか確認。	施工計画書 施行写真 施工記録	1-3-11-2
2. 出来形	①コンクリート表面の出来ばえ	・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント及びブリージングの痕跡がないかを確認。	施工写真	共通仕様書規定外
		・コンクリート表面の補修にあたり、本体コンクリートと同時の品質を有するコンクリート、またはモルタルのパッチングを施し平らな表面となっているかを確認。		1-3-6-8
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①品質管理	・コンクリートの圧縮強度、スランプ、空気量、塩化物総量及び単位水量等は規格値を満足しているかを確認。 ・重要構造物(橋梁下部工等)については、公的試験機関において試験を実施したかを確認。	試験成績表 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
	②ひび割れ調査	・重要構造物(橋梁下部高等)について、調査が行われているか確認。 ・ひび割れ幅が0.2mm以上(水密性が要求される構造物の場合0.05mm以上)の場合に「ひび割れ発生状況調査要領3(2)」により対応しているか確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書Ⅱ記載
	③テストハンマーによる強度推定調査	・使用するテストハンマーの使用頻度に留意し、検定済みであることを確認。	試験成績表	共通仕様書規定外
		・テストハンマーによる強度試験の平均強度が、所要の強度を得られない場合、もしくは1箇所の強度が設計強度の85%を下回った場合は、コアによる圧縮強度試験を実施したかを確認。	施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
	④配合計画書	・配合計画書、品質証明書、納入書及び基礎資料等が整備・保管されているかを確認。	配合計画書 品質証明書	1-3-3-2 1-3-3-3

第2編 材料編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第1章 一般事項				
1. 適用	①設計図書	・設計図書に明示した品質規格に適合しているかを確認。 ・共通仕様書に示す規格に適合したもの又はこれと同等以上の品質を有しているかを確認。 ・監督員が承諾した材料及び設計図書に明示されていない仮設材料は除く。	資材承認図書の確認 各種証明書の確認	2-1-1-0
	②承諾・提出	・海外のJISマーク表示認証工場以外で生産されたものは、海外建設資材品質審査証明書が監督員に提出されているかを確認する。 ・海外のJIS認証外製品として生産納入されたものは、海外建設資材品質審査証明書が日本国内の公的機関で実施した試験結果資料が監督員に提出されているかを確認。 また、使用実績があり品質管理データがある場合は、他工事(公共工事に限る)の試験結果表を確認。	JIS規格が定まっている資材。 JIS規格が定まっていない資材。	2-1-2-0
2. 工事材料の品質及び確認	①設計図書・確認	・品質規格証明書は、証明書発行日と証明者押印を確認。 ・外観、品質証明書等を照合した資料を監督員に提出確認を受けているかを確認。 ・試験を行うことになっている工事材料について、JIS又は設計図書で指示する方法で試験を行っているかを確認。 ・見本又は品質を証明する資料を監督員へ提出することになっている材料は、これを提出しているかを確認。	資材承認図書の確認 各種証明書の確認	2-1-2-0
	②提出・確認	・コンクリート二次製品のうち福島県土木部の認定製品を使用する場合は、施工計画書に工場名を記載し、監督員に提出されているかを確認。 ・材質が使用前に変質しないよう保管しなければならないが、監督員から不適当との指示があった場合は、取り替えるとともに再確認を受けているかを確認。	資材承認図書の確認 各種証明書の確認	2-1-2-0
第2章 土木工事材料【2-1 土】				
1. 一般事項	①土質・特性	・共通仕様書に示す規格に適合したものであるかを確認。 ・設計図書に明示した品質規格に適合していることを確認。 ・監督員に提出し、承認された品質・規格であることを確認。 (仮設材は除く。)	資材承認図書の確認 特記仕様書 資材承認図書の確認	2-2-1-1
【2-2 石】				
1. 一般事項	①材質・特性 ・石材 ・割ぐり石 ・雑割石 ・雑石(粗石) ・玉石 ・ぐり石 ・自然石 ・巨石 ・その他の砂利 砕石 砂	・設計図書における各工種の施工に適合するものになっているかを確認。	資材承認図書の確認 現地での確認 写真での確認	2-2-1-1
		・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第2節で規定する規格に適合するものであることを確認。	伝票・納品書による確認	2-2-2-1 ～ 2-2-2-9
【2-3 骨 材】				
1. 一般事項	①規格・形状	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第3節で規定する規格に適合するものであることを確認。	資材承認図書の確認 現地での確認	2-2-3-1
	②貯蔵方法	〃	写真での確認	
	③海砂利用について	〃		
2. セメント コンクリート 用骨材	①規格・品質	〃	資材承認図書の確認 現地での確認 写真での確認	2-2-3-2
3. As舗装用 骨材	①規格・品質	〃	〃	2-2-3-3
4. As再生骨材	①規格・品質	〃	〃	2-2-3-4
5. フィラー	①規格・品質	〃	〃	2-2-3-5
6. 安定材	①規格・品質	〃	〃	2-2-3-6
【2-4 木 材】				
1. 一般事項	①材質・特性	・有害な割れ、割れ等の欠損のないものであるかを確認。	目視・写真等の確認	2-2-4-1
	②規格・寸法	・製材は仕上がり寸法、素材は末口寸法とする。		
	③有害物質	・防腐加工のクレオソート油を使用していないかを確認。		

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【2-5 鋼 材】				
1. 一般事項	①材質・特性	・錆び、くされ等変質のないものであるかを確認。	目視・写真等の確認	2-2-5-1
	②保管管理	・塵埃や油類等で汚損しないようにし、防蝕がなされているかを確認。		
2. 品 質	①規格・寸法	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第5節で規定する規格に適合するものであることを確認	ミルシート 試験成績証明書	2-2-5-2 ～ 2-2-5-20
【2-6 セメント及び混和材料】				
1. 一般事項	①材質・特性	・セメントは、普通ポルトランドを使用しているか。 他のセメント混和材料を使用する場合は、設計図書によるものかを確認。	資材承認図書の確認	2-2-6-1
	②保管・貯蔵	・セメント貯蔵のサイロの構造、貯蔵中のセメントの異常の場合は、試験で確認し、混和材料についても同様の措置がとられているかを確認。 ・ただし、保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵したセメントは使用してはならない。		2-2-6-1
2. セメント	①規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第6節で規定する規格に適合するものであることを確認。	各JIS規格の確認 (必要に応じて)	2-2-6-2
3. 混和材料	①規格・材質	〃	〃	2-2-6-3
4. コンクリート用水	①規格・材質	〃	〃	2-2-6-4
【2-7 セメントコンクリート製品】				
1. 一般事項	①品質	・有害なひびわれ等損傷のないものであるかを確認。	写真、現地検視	2-2-7-1
	②材質	・使用するコンクリートは、「アルカリ骨材反応抑制対策」並びに「コンクリート中の塩化物総量規制」を満足するものであることを確認。	福島県策定 (平成14年10月)	2-2-7-1
2. セメント・コンクリート製品	①規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第7節で規定する規格に適合するものであることを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-7-2
【2-8 瀝青材料】				
1. 一般瀝青材料	①規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第8節で規定する規格に適合するものであることを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-8-1
2. その他の瀝青材料	①規格・材質	〃	〃	2-2-8-2
3. 再生用添加剤	①規格・材質	〃	〃	2-2-8-3
4. アスファルト注入材料	①規格・材質	〃	〃	2-2-8-4
【2-9 芝及びそだ】				
1. 芝	①品質	・成育が良く緊密な根茎を有し、茎葉の萎縮、徒長、むれ、病虫害等のないものであるかを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-9-1
	②管理・保管	・芝切り取り後は、速やかに運搬するものとし、乾燥、むれ、傷み、土くずれ等のないものであるかを確認。	〃	2-2-9-1
2. そだ	①材質	・針葉樹を除く堅固でじん性に富むかん木であるかを確認。	〃	2-2-9-2
【2-10 目地材料】				
1. 注入目地材	①品質	・コンクリート版の膨張、収縮に順応し、コンクリートとよく付着し、ひび割れが入らないものであるかを確認。 ・水に溶けず、水密性のものであるかを確認。 ・高温時に流れ出ず、低温時にも衝撃に耐え、土砂等異物の進入を防ぎ耐久であるかを確認。 加熱施工式のもの、加熱したときにも分離しないものであるかを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-10-1
2. 目地板	①品質	・コンクリート膨張収縮に順応し、かつ耐久性に優れたものであるかを確認。	〃	2-2-10-2

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【2-11 塗 料】				
1. 一般事項	①品質	・工場で調合したものを使用しているかを確認。 ・希釈剤は、塗料と同一製造者の製品を使用しているかを確認。 ・さび止めに使用する塗料は油性系さび止め塗料であるかを確認。 ・塗料の有効期限は、ジンクリッチペイントは製造後6ヶ月以内、その他の塗料は製造後12ヶ月以内であることを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。 品質証明書	2-2-11-1
	②規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第11節で規定する規格に、適合するものであることを確認。(道路標識の支柱のさび止め、下塗り塗料)	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-11-1
	③管理・保管	・直射日光を受けない場所に保管しているかを確認。 開缶後は、十分な攪拌の上、速やかに使用しているかを確認。 ・有効期限が過ぎている塗料を使用していないことを確認。	施工計画書及び施工管理調書により確認	2-2-11-1
【2-12 道路標識及び区画線】				
1. 道路標識	①規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第12節で規定する規格に、適合するものであることを確認。		2-2-12-1
2. 区画線	①規格・材質	・共通仕様書(土木工事編Ⅰ)第2章土木工事材料第12節で規定する規格に、適合するものであることを確認。		2-2-12-2
	②品質	・塗料の有効期限は製造後12ヶ月以内であることを確認。	品質証明書	2-2-12-2
【2-13 その他】				
	1. エポキシ樹脂接着剤	・共通仕様書第13節に記載されているJIS規格を満足しているかを確認。	資材の試験成績証明書により確認する。	2-2-13-1
	2. 合成樹脂製品	〃		2-2-13-2
	3. 路盤紙	〃		2-2-13-3
	4. 河川護岸用吸い出し防止シート	〃		2-2-13-4
	5. 無収縮モルタル	〃		2-2-13-5
	6. トンネル防水工	〃		2-2-13-6
	7. 雑石(沈石用)確認	〃		2-2-13-7
	8. 防砂板	〃		2-2-13-8
	9. 道路照明標示板	〃		2-2-13-9

第3編 土木工事共通編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書 I 編-章-節-条
第1章 一般施工				
【1-3 共通的工種】 [1-3-9 区画線工]				
1. 施工状況	①作業時の条件	・設置路面の水分、泥、砂じん、ほこりを取り除き施工しているか。 ・溶融式でやむを得ず気温5度以下の施工の場合、路面を予熱した後行っているか。	施工写真	3-1-3-9
	②区画線の消去	・単に乳剤で塗りつぶす工法を取っていないか。 ・表示材(塗料)のみの除去を心掛け、路面への影響を最小限にとどめているか。 ・消去により発生する塗料粉じんの飛散防止処理を行っているか。	施工写真	3-1-3-9
2. 出来形	①厚み、幅	・設計値以上か。	テストピース 竣工図、現地検測	共通仕様書 II 記載
	②テストピース	・各線種毎に、1箇所テストピースが取られ設計値以上の塗布量、規格を満足しているか確認。ペイント式は、テストピースを省略し、現地測定によることができる。	テストピース	共通仕様書 II 記載
3. 品質	①溶解槽の温度管理	・常に180度～220度の温度で塗料を塗布できるよう適温に管理しているか。	施工写真、品質管理	3-1-3-9
	②シンナーの使用量	・ペイント式(常温式)に使用するシンナーの使用量は10%以下となっているか。	施工計画書 施工写真	3-1-3-9
【1-4 基礎工】 [1-4-4 既製杭(コンクリート杭・鋼管杭・H鋼杭)工]				
1. 施工状況	①打込み又は沈設	・設計図書に従って試験杭を施工しているか、または、各基礎ごとに試験杭として施工していることを確認。 ・杭の打込み(又は沈設)角度の管理手法と施工が一致していることを確認。 ＜打込み杭＞ ・杭の打止め管理方法等が施工計画書に記載され、施工記録が整備保管されていることを確認。 ＜中掘杭＞ ・掘削、沈設中の土質変化等の観察や試験杭等の打止め条件に基づく最終打止め管理が行われていることを確認。 ・先端処理方法がセメントミルク噴出攪拌方式またはコンクリート打設方式の場合、整備保管されている資料により支持層を確認。	施工計画書 施工写真 施工記録	3-1-4-4 共通仕様書規定外
		・アーク溶接継手として施工していることを確認。 ・鋼管杭及びH鋼杭の場合は、溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査又は記録を行う溶接施工管理技術者が常駐していることを確認。 ・溶接技能者は、JIS Z3801、JIS Z3841に基づく技術試験、又はこれらと同等以上の技術試験に合格した者であることを確認。 (ただし鋼管杭及びH鋼杭の場合は、JIS Z3801に基づく技術試験、又はこれらと同等以上の技術試験に合格した者で、かつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者であること。)		3-1-4-4
		・降雪雨時、強風時に露地で鋼管杭及びH鋼杭の溶接作業を行ってはならない。風はセルフシールドアーク溶接の場合には10m/sec以内、ガスシールドアーク溶接の場合には2m/sec以内とする。 ・気温が5℃を超えているかを確認。但し、-10℃～+5℃の場合で、溶接部から100mm以内の部分が全て+36℃以上に予熱した場合は施工できる。 ・溶接完了後、溶接箇所の欠陥の有無を確認していること。 ・欠陥があった場合は、再溶接して補修を行っていることを確認。		3-1-4-4
		・杭頭処理において、杭本体を損傷させないよう施工していることを確認。	施工写真	3-1-4-4
	②杭継ぎ	・降雪雨時、強風時に露地で鋼管杭及びH鋼杭の溶接作業を行ってはならない。風はセルフシールドアーク溶接の場合には10m/sec以内、ガスシールドアーク溶接の場合には2m/sec以内とする。 ・気温が5℃を超えているかを確認。但し、-10℃～+5℃の場合で、溶接部から100mm以内の部分が全て+36℃以上に予熱した場合は施工できる。 ・溶接完了後、溶接箇所の欠陥の有無を確認していること。 ・欠陥があった場合は、再溶接して補修を行っていることを確認。	施工計画書 資格証明書 施工写真	3-1-4-4
2. 出来形	以下の測定項目について、全数杭中心で測定していることを確認。		出来形管理記録 施工写真	共通仕様書 II 記載
	①基準高	・±50mm		
	②根入長	・設計値以上		
	③偏心量	・D(杭径)／4以内かつ100mm以内		
	④傾斜	・1／100以内		

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
3. 品質	①杭本体	・設計図書に示す杭の形状寸法及び所要の規格を品質証明書等で確認。 ・杭に損傷及び補修痕がないことを確認。	試験成績表 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
	②現場溶接	＜杭継ぎ外観検査＞ ・上杭と下杭の外周長の差が、許容値以内であることを確認。(鋼管杭) ・開先の食違い量及びルート間隔が、許容値以下であることを確認。(コンクリート杭)	試験成績表 施工写真 資格証明書	3-1-4-4 共通仕様書規定外
		＜浸透深傷試験＞ ・割れ及び有害な欠陥の有無について、原則全溶接箇所で行っていることを確認。(なお、全溶接箇所の10%以上は、JIS Z 2343により定められた認定技術者が行っていること。)		共通仕様書Ⅱ記載
		＜放射線透過試験又は超音波探傷試験＞ ・原則として溶接20箇所毎に1箇所実施しており、傷の評価が許容値以内であることを確認。なお、対象箇所では鋼管杭を4方向から透過し、その撮影長は30cm/1方向としていることを確認。		共通仕様書Ⅱ記載
		③セメントミルク (先端処理)		＜水セメント比試験＞ ・比重測定として、単杭の場合は1回／30本、継杭の場合は1回／20本実施(採取本数3本／回)しており、数値が設計図書を満足していることを確認。 ＜圧縮強度試験＞ ・単杭の場合は1回／30本、継杭の場合は1回／20本実施(採取本数3本／回)しており、数値が設計図書を満足していることを確認。
	[1-4-5 場所打杭工]			
1. 施工状況	①掘削	・設計図書に従って試験杭を施工しているか、または、各基礎ごとに試験杭として施工していることを確認。 ・杭の設置角度(鉛直)の管理手法と施工が一致していることを確認。 ・杭長決定の管理方法等が施工計画書に記載され、施工記録が整備保管されていることを確認。 ・掘削中の孔内水位を孔外水位より下げていることを確認。(※) ・安定液濃度、比重の管理状況を確認。(※) ・支持地盤について、掘削深さ、掘削土砂、地質柱状図及びサンプルなどにより確認。	施工計画書 施工写真 施工記録 ※リバース、アースドリル、ダウンザホールハンマ、大口径ボーリングマシンの各工法の場合	3-1-4-5
	②コンクリート打設	・コンクリート打設に先行し、孔低沈殿物(スライム)を除去していることを確認。 ・鉄筋かごについて、重ね継手で施工していること。 また、スパーサーが同一深さ位置に4箇所以上、深さ方向3m間隔以下で取り付けられていることを確認。 特に杭頭部は、鉄筋かご円周長に対し500～700mmの間隔で設置されていることを確認。 ・コンクリート打設は、トレミー管を用いたブランジャー方式により打込み量及び打込み高を常に計測していることを確認。 ・トレミー管を、コンクリート内に2m以上挿入していることを確認。 ・品質不良のコンクリート部分を見込み、仕上り面を50cm以上(孔内水不使用時)又は80cm以上(孔内水使用時)高く打設していること。 硬化後に設計高さまで取壊していることを確認。 ・オールケーシング工法の場合、ケーシングチューブ下端をコンクリート打設面より2m以上挿入していることを確認。	施工記録 試験成績表 出来形管理記録 施工写真	3-1-4-5
	③杭頭処理	・杭頭処理において、杭本体を損傷させないよう施工していることを確認。	施工写真	3-1-4-5
	2. 出来形	以下の測定項目について、全数杭中心で測定していることを確認。		出来形管理記録 施工写真
①基準高	・±50mm			
②根入長	・設計値以上			
③偏心量	・100mm以内			
④杭径	・-30mm以上			
⑤傾斜	・1／100以内			
3. 品質	①コンクリート	・水中コンクリート用のコンクリート(30N)を使用していることを確認。(その他、4. コンクリート工を準用)	伝票 試験成績表	共通仕様書Ⅲ記載

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【1-4-6 基礎工】				
1. 施工状況	①掘削	・常に孔内の排水を行っていることを確認。 ・ライナープレートの組立において、偏心と歪みを最小限となるよう施工していることを確認。 ・支持地盤について、掘削深、掘削土砂、地質柱状図などにより確認。	施工計画書 施工写真 施工記録	3-1-4-6
	②コンクリート打設	・鉄筋組立において、曲がりや振れが生じないよう土留材に固定していることを確認。 ・軸方向鉄筋の継手は機械式継手とし、せん断補強鉄筋は重ね継手又は機械式継手で施工されていることを確認。 ・コンクリート打設は、打込み量及び打込み高を常に計測していることを確認。 ・コンクリート打継目について、レイトンス、緩んだ骨材、雑物等を取り除き吸水させていることを確認。	施工記録 試験成績表 出来形管理記録 施工写真	3-1-4-6 共通仕様書規定外
	③裏込材注入	・グラウト注入方法が施工計画書に記載され、施工記録が整備保管されていることを確認。 ・裏込材注入圧力は、0.1N/mm ² 程度であることを確認。 ・土留材と地山の間の空隙部は、全長にわたり裏込注入が行われていることを確認。		3-1-4-6
2. 出来形	以下の測定項目について、全数杭中心で測定していることを確認。		出来形管理記録 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
	①基準高	・±50mm		
	②根入長	・設計値以上		
	③偏心量	・150mm以内		
	④傾斜	・1/50以内		
	⑤基礎径D	設計径(公称径)以上		
3. 品質	①コンクリート	・深礎工用のコンクリート(24N)を使用していることを確認。 (その他、4. コンクリート工を準用)	伝票 試験成績表	共通仕様書Ⅲ記載
【1-5 石・ブロック積(張)工】				
1. 施工状況	①基礎工	・基礎コンクリートの施工に際して、ドライな状態で施工しているかを確認。	施工写真	共通仕様書規定外
	②裏込工(吸出防止材)	・吸出し防止材の重合せ長さは、10cm以上確保されているか。 また、下流側の材料が下側となっているかを確認。	施工写真 出来形管理記録	共通仕様書規定外
	③裏込工(厚・転圧)	・裏込材の厚さと転圧状況について確認。	現地検視	共通仕様書Ⅱ記載
	④ブロック工(目地割)	・ブロックの目地割は適切かを確認。		共通仕様書規定外
	⑤排水工(水抜きパイプ)	・水抜きパイプは、護岸工背面の水が流れる勾配(2%程度)となっているか。 また、水抜きパイプと裏込め材との接合部には吸出し防止材が設置しているかを確認。	施工写真 現地検視	3-1-5-1
	⑥仮締切工	・増水時等に河積及び対岸への影響がないように設置しているかを確認。	施工写真	共通仕様書規定外
	⑦工事中止基準	・施工計画書で工事の中止基準が記載されているかを確認。 (河川水位、降り始めから降雨量、時間雨量、地震、風速等)	施工計画書	共通仕様書規定外
	⑧積み方	・設計図書の指示がない場合は、谷積で施工されているかを確認。 ・自然石においては、径の1/2以上を胴込コンクリートに入っているか。 また、護岸前面で10cm程度以内で凸凹があり、十分なかみ合わせとなっているかを確認。	施工写真 現地検視	3-1-5-1 3-1-5-6
2. 出来形	①合端間隔	・ブロックの合端間隔(最大2cm程度)は過大となっていないかを確認。	現地検視	3-1-5-3
	②間仕切りコンクリート工	・コンクリート骨材最大粒径を考慮し、最低幅を10cm以上確保されているかを確認。	施工写真	3-1-5-3
	③目地工・小口止工	・境部分の目地は適切かを確認。 ・小口止めと地山との摺付けが適切に処理されているかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
	④外観検査	・通りは水の流れから見てスムーズか。 また既設との摺付けは適切かを確認。 ・ブロックや境部分にクラックがないか。 また仕上がりはきれいかを確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	⑤カゴ工(フトン籠、カゴマット)	・詰め石の寸法、形が適正かどうかを確認。 ・設計図書で図示された線材の規格かどうかを確認。		3-1-3-32
	⑥管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録	共通仕様書Ⅱ記載

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【1-6 一般舗装工】				
1. 施工状況	①面取工	・既設舗装にカッター目地を入れる際に面取工を行う場合は、適切な面取斜めカッターを実施しているかを確認。	施工写真	3-1-6-16
	②乳剤散布	・散布量・ムラ・品質の確認及び構造物等との接着面に乳剤塗布を実施しているかを確認。 ※1出典：アスファルト舗装工事共通仕様書解説（平成4年12月）P.89、P.93 一般にプライムコート1.2 $\frac{kg}{m^2}$ ／㎡、タックコート0.4 $\frac{kg}{m^2}$ ／㎡が標準 ※2出典：積算基準 プライムコート1.26 $\frac{kg}{m^2}$ ／㎡、タックコート0.43 $\frac{kg}{m^2}$ ／㎡	施工写真 品質証明書	共通仕様書規定外
		・養生砂を必要とする場合、適切な散布であるかどうかを確認。		共通仕様書規定外
		・製造後60日を経過した材料は、品質が規格に適合するかどうかを確認。		3-1-6-3
	③舗設順序	・横断勾配の低い方より高い方に舗設しているかを確認。 ※出典：舗装施工便覧（平成18年2月）P.111	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	④As温度	・アスファルト合材が初期転圧前で110℃以上かを確認。	施工写真 温度管理記録表	共通仕様書Ⅱ 記載
		・開放時で50℃以下になっているかを確認。		3-1-6-7
		・冬期においては、5℃より高い気温で舗設されているかを確認。		
	⑤締固工	・As合材の適切な温度及び施工手順で施工されているかを確認。	施工計画書 施工写真	3-1-6-7
		・構造物等に接する舗装端部の敷均し及び締固め方法が施工計画書に記載されており、実際の施工が合致しているかを確認。		
	⑥路肩盛土	・土羽土の施工にあたり、法面浸食のおそれのない粘着性のある材料を使用しているかを確認。	施工写真 現地検視	1-2-4-5
	⑦路面掘削(切削)工	・掘削(切削)後の施工面は、有害物を除去しているかを確認。	施工写真	4-14-4-5
		・舗装までの期間が空く場合は、段差処理を確実に実施しているかを確認。		3-1-6-16
		・区画線の消滅する箇所は、仮区画線を設置しているかを確認。		共通仕様書規定外
		・クラック抑制シートの重ね合わせは、5cm～8cm程度としているかを確認。		3-1-6-17
	⑧路上路盤再生工 (CAE)	・区画線が消滅する箇所は、仮区画線を設置しているかを確認。	施工写真 試験成績書 伝票 資材受払簿	共通仕様書規定外
		・現地材料で、六価クロム溶出試験を実施しているかを確認。 ※出典：舗装再生便覧（平成22年11月）P.78、P.82		共通仕様書規定外
		・As乳剤及びセメント添加量は適正かどうか。 また設計セメント量と実際のセメント量が開きがあった場合、適正に処理されているかを確認。（一軸圧縮試験）		4-14-4-7
		・適切な混合条件（最適含水比）で施工しているかを確認。 ・路盤の厚さが20cmを超えている場合の締固めは、振動ローラにより施工されているかを確認。 ・基準密度（最大乾燥密度）の設定に当たっては、当該現場の試料で試験を実施したことを確認。 ・破砕された既設アスファルト混合物の最大粒径が、概ね50mm以下となっているかを確認。 ※出典：舗装再生便覧（平成22年11月）P.85		共通仕様書規定外
	⑨コンクリート舗装工	・鉄網の重ね継手は、20cm以上重ね合わせがなされているか。 なお、なまし鉄線で結束されているかを確認。	施工写真	3-1-6-12
2. 出来形	①舗装厚・ 平坦性・すりつけ	・1,000㎡に1個の割でコアーを採取し、舗装厚を測定しているかを確認。 (現場密度試験は1,000㎡～3,000㎡では3孔必要)	施工写真 出来型管理記録 現地検視	共通仕様書Ⅱ 記載
		・平坦性が確保され、構造物等とのすり付けが良好であるかを確認。		共通仕様書規定外
		・住家密集地区を施工の時、側溝等との段差に注意して施工しているかを確認。(摺付け舗装)		
	②管理基準及び規格 値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	試験成績書 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ 記載
3. 品質	①下層路盤工	・現場管理密度の確認。(現場密度試験は1,000㎡～3,000㎡では3孔必要) (突砂法による。砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ)	施工写真 試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
		・ブルーフローリング(試験転圧)は路盤仕上後、全幅、全区間で実施されているかを確認。		3-1-6-1
		・一層の仕上り厚は20cm以下で実施されているか確認。		3-1-6-7
	②上層路盤工	・現場管理密度の確認。(現場密度試験は1,000㎡～3,000㎡では3孔必要) (突砂法による。砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ)		共通仕様書Ⅱ 記載
		・一層の仕上り厚は、15cm以下(振動ローラ使用時は20cm以下)で実施されているかを確認。		3-1-6-7
	③施工継目等	・表層と基層及び加熱アスファルト安定処理層等の各層の縦横目地の位置は、必要な長さをずらして施工され、継目及び構造物との接合面には瀝青材料が塗布されているかを確認。 (具体的には、表層と基層の縦継ぎ目の位置は15cm以上、横継ぎ目の位置は1m以上ずらしているか。)	施工写真 現地検測(コア-抜取)	3-1-6-7
	④表層工	・現場管理密度の確認。(現場密度試験は1,000㎡～3,000㎡では3孔必要) ・温度測定(初期締固め前)	施工写真 試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
	⑤排水性・透水性舗装 透水試験	・現場透水性試験器を使用し、現地にて透水性を確認。 ・規格値は1,000ml/15sec以上で、15秒以内で1,000mlが浸透することを確認。 (歩道の場合は15秒以内で300ml)	施工写真 試験成績書 現地検測	共通仕様書規定外
	⑥コンクリート舗装	・コンクリートの曲げ強度(4.5MPa)の確認。	試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
	⑦管理基準及び規格 値	・施工種別における必須試験が試験基準を満たしているのか。 また、試験結果が規格値を満足しているかを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書Ⅱ 記載

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
【1-7 地盤改良工】 [1-7-2 路床安定処理工]				
1. 施工状況	①仕上げ	・路床土と安定材を均一に混合し、締固めて仕上げられているかを確認。	施工写真	3-1-7-2
	②安定材の散布前処理	・安定材の散布を行う前に、現地盤の不陸整正や必要に応じて仮排水路などが設置されているかを確認。	施工写真	3-1-7-2
	③安定材の散布	・所定の安定材を散布機械または人力によって均等に散布されているかを確認。	施工写真	3-1-7-2
	④安定材の混合	・安定材の散布終了後に適切な混合機械を用いて混合しているかを確認。 また、混合中は混合深さの確認を行うとともに、混合むらが生じた場合は再混合を行っているかを確認。	施工写真	3-1-7-2
	⑤石灰を用いる場合の混合	・粒状の石灰を用いる場合には、1回目の混合が終了した後仮転圧して放置し、生石灰の消化を待ってから再び混合を行っているかを確認。 ただし、粉状の生石灰(0～5mm)を使用する場合は、一回の混合とすることができるとその確認。	施工写真	3-1-7-2
	⑥粉塵対策	・散布及び混合を行うにあたり、粉塵対策が必要であれば実施しているかを確認。	施工写真	3-1-7-2
	⑦締固め	・混合が終了したら表面を粗均した後、整形し締固めているかの確認。 当該箇所が、軟弱で締固め機械が入れない場合には、湿地ブルドーザーなどで軽く転圧を行い、数日間養生した後に整形しタイヤローラなどで締固めているかの確認。	施工写真	3-1-7-2
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また、測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ 記載
3. 品質	①現場密度の測定	・決められた試験方法や試験基準で規格値を満たしているかを確認。(3孔／回の最低値)	試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
	②ブルーフローリング	・ブルーフローリング(試験転圧)の実施なされているかを確認。	施工写真	共通仕様書Ⅱ 記載
[1-7-3 置換工]				
1. 施工状況	①掘削工	・置換のために掘削を行うにあたり、掘削面以下の層を乱さないように施工しているかを確認。	施工写真	3-1-7-3
	②置換材の敷き均し	・路床部の置換工にあたり、一層の敷き均し厚さは、仕上がり厚で20cm以下としているかを確認。	施工写真	3-1-7-3
	③置換材の締め固め	・構造物基礎の置き換え工に当たり、構造物に有害な沈下及びその他の影響が生じないように十分に締め固めているかを確認。	施工写真	3-1-7-3
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また、測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ 記載
3. 品質	①置換材料	・置換材の土質試験を適切に実施しているかを確認。 適切な土質条件(最適含水比)で施工しているかを確認。	施工写真 試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
	②路床(層厚、現場密度)	・所定の仕上がり厚で各層毎に締め固めているか。 なお、現場密度は、路床で95%以上となっているかを確認。 (3孔／回の最低値)	施工写真 試験成績書	共通仕様書Ⅱ 記載
	③現場密度試験	・材料の現場密度試験が一部の層だけに偏っていないか。 何層もある場合は上層部だけでなく、中間層でも実施しているかを確認。	施工写真 試験成績書	共通仕様書規定外
【1-9 構造物撤去工】 [1-9-1 一般事項]				
1. 施工状況	①施工計画書との整合	・施工計画書で定めた、機器を使用し、記載された、順序で施工されているか。	施工計画書 施工写真	1-1-1-7
	②一般交通に支障のない安全対策	・一般交通の安全を考慮した方法で、構造物の撤去が行われているか。	施工計画書	3-1-9-3 ～ 3-1-9-6 3-1-9-8 3-1-9-11 ～ 3-1-9-13
	③再使用する材料について	・近接する構造物に損傷や機能上の悪影響がないか。 撤去後再使用する材料については、丁寧に撤去されているか。	写真、現地検測	共通仕様書規定外
2. 出来形	①撤去前、撤去後の確認	・撤去すべき工種の延長、厚み等が写真で確認できるか。 ・処理後の数量がマニフェスト等で確認できるか。	写真 マニフェスト	共通仕様書規定外 3-1-9-3 ～ 3-1-9-13
3. 品質		・特に無し。		
【1-10 仮設工】 [1-10-1 一般事項]				
1. 施工状況	①施工計画書との整合	・施工計画書で定めた、機器を使用し、記載された、順序で施工されているか。	施工計画書	1-1-1-7
	②一般交通に支障のない安全対策	・一般交通の安全を考慮した方法で施工されているか。	施工計画書 施工写真	3-1-10-2
	③断面検討	・湧水や雨水の流入水量を検討した断面と構造。	流量計算書	3-1-10-7
2. 出来形	①指定仮設	・設計図書の通り施工されているか。工種毎の規格値は満足するか。 ・本体施工後の撤去が図られたか。	写真、現地検測	3-1-10-1
	②任意仮設	・本体施工後の撤去が図られたか。	写真、現地検測	3-1-10-1
3. 品質		・各工種毎の品質規格の満足。		共通仕様書Ⅱ 記載

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【1-11 軽量盛土工】[1-11-2 軽量盛土工]				
1. 施工状況	①軽量材の運搬	・発砲スチロール等の軽量材の運搬にあたり損傷を生じていないかを確認。	施工写真	3-1-11-2
	②仮置き時の処置	・EPSは単位体積重量が著しく小さいため、仮置き時にあたっては飛散防止に努めるとともに、火災による溶融や油脂による変形を防止するため、火気、油脂類を避け防火管理体制を整えているか確認。 また、長期にわたり紫外線を受ける場合は劣化を防止するためシート等で被覆しているか確認。	施工写真	3-1-11-2
	③湧水の処理	・基盤に湧水がある場合は、設計図書に関して監督員と協議しているか確認。	施工写真	3-1-11-2
	④ブロックの設置	・軽量材の最下層ブロックの設置にあたっては、特に段差が生じていないか確認。	施工写真	3-1-11-2
	⑤ブロック間の固定	・軽量材のブロック間の固定にあたっては、設計図書に示された場合を除き、緊結金具を使用し固定しているか確認。	施工写真	3-1-11-2
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また、測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①ブロックの品質	・設計図書に示されたブロックの品質と同等かそれ以上であることを確認。	試験成績書	共通仕様書規定外
【1-14 法面工】				
1. 施工状況	①土壌硬度及び土壌試験(pH)	・工事着手する前に、法面の土壌硬度試験及び土壌試験(pH)を行っているかを確認。	試験成績書	3-1-14-2
	②施工基面	・施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工しているかを確認。	施工写真	3-1-14-2
	③ワイヤラス重合せ	・補強用金網の重合せ幅が10cm以上確保され、仕上がり面からの間隔が保持されているかを確認。	施工写真	3-1-14-3
	④植生マット重合せ	・植生シート・マットの境界に、隙間がないように施工されているかを確認。	施行写真	3-1-14-2
	⑤湧水箇所の処理	・吹付けの施工に影響を及ぼす湧水が発生した場合、またはその恐れがある場合に、施工方法について監督員と協議を行っているかを確認。	施工写真 協議書	3-1-14-4
	⑥植生工	・芝の育成に適した土が使用されているかを確認。	品質証明書	3-1-14-2
		・張芝、筋芝、人工張芝の法肩に耳芝を施工しているかを確認。 また、施工方法について共通仕様書によりがたい場合は監督員と協議しているかを確認。	施工写真 現地検視 協議書	3-1-14-2
		・張芝の脱落防止目串が1㎡当たり20～30本の芝串で固定され、芝の長手を水平方向とし、縦目地を通さず施工しているかを確認。	施工写真 現地検視	3-1-14-2
	⑦吹付工	・伸縮目地、水抜き孔の施工について、設計図書に明示されていない場合は、設計図書に関して監督員と協議しているかを確認。	協議書	3-1-14-3
	⑧アンカー工	・削孔水は、清水を使用しているかを確認。	施工写真 試験成績書	3-1-14-6
		・孔内は清水によりスライム除去し、洗浄されているかを確認。	施工写真	3-1-14-6
		・アンカー鋼材に注入材との付着に有害なさび、油、泥等が付着していないか確認。	施工写真	3-1-14-6
	⑨かご工	・じゃかごの中詰用ぐり石は、15～25cmの天然石または割ぐり石であるかを確認。	試験成績書、施工写真、現地検測	3-1-14-7
		・ふとんかごの中詰用ぐり石は、ふとんかごの厚さが30cmの場合は5～15cm、50cmの場合は15～20cmの天然石または割ぐり石であるかを確認。	試験成績書、施工写真、現地検測	3-1-14-7
2. 出来形	①吹付	・法肩部は、雨水が浸透ないように地山に巻き込んで施工しているかを確認。	施工写真、現地検測	3-1-14-3
		・吹付け法長、幅、吹付枠中心間隔、厚さ、延長が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録、施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①植生工	・植生工材料は配合表が提出されているかを確認。 河川堤防の法面(川表、川裏とも)においては、堤防を弱体化させる種子(菜の花、ホワイトクローバ、クズ等)や草丈が高くなる種子を使用していないかを確認。	品質証明書	3-1-14-2

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
【1-15 擁壁工】 【1-15-2 プレキャスト擁壁工】				
1. 施工状況	①設置	・基礎との密着をはかり、接合面が食い違わないよう施工しているかを確認。	施工写真	3-1-15-2
	②目地	・目地の施工において、付着・水密性が保たれているかを確認。	施工写真 試験成績書	3-1-15-2
【1-15-3 補強土壁工】				
1. 施工状況	①盛土材料	・設計図書に指定された盛土材料か。 また、盛土材料の確認を行い承諾を得ているかを確認。	土質試験結果報告書	3-1-15-3
	②布設状況	・第1層の補強材の敷設に先立ち、現地盤の伐開除根及び不陸の整地を行っているかを確認。	施工写真	3-1-15-3
	③排水処理工の設置	・監督員と協議のうえ、基盤面に排水処理工を行っているかを確認。	協議書	3-1-15-3
	④補強材の材料	・設計図書に示された規格及び敷設長を有しているかを確認。	施行写真 出来形管理記録	3-1-15-3
		・搬入から敷設後の締固め完了まで劣化や破断が生じないように管理しているかを確認。	施工写真	3-1-15-3
	⑤面状補強材	・補強材は水平に、かつたるみや極端な凹凸が無いように敷設され、ピンや土盛りなどにより固定されているかを確認。	施工写真	3-1-15-3
		・継ぎ目を設けてはならない。 ただし、設ける場合は接合方法を監督員と協議しているかを確認。	施工写真	3-1-15-3
		・面状補強材の保管にあたり直射日光を避けて保管しているかを確認。	施工写真	3-1-15-3
	⑥重ね合せ幅	・設計図書に重ね合せの定めがあるか。 ない場合は面状補強材に5cm程度の重ね合せ幅が確保されているかを確認。	施工写真	共通仕様書規定外
	⑦曲線・隅角の処理	・曲線や隅角などの折れ部で設計図書に示されたとおり敷設が困難な場合、監督員と協議しているかを確認。	施工承認 施工写真	3-1-15-3
	⑧盛土材の敷き均し・締め固め	・一層ごとに施工し、まき出し及び締固めは壁面工側から順次奥に行っているかを確認。	施工計画書 施工写真	3-1-15-3
	⑨壁面工の段数	・盛土に先行して組立てられる壁面工の段数は2段までかを確認。	施工計画書 施工写真	3-1-15-3
	⑩壁面工・隅角付近の締め固め	・壁面工や隅角部付近の締固めは、各補強土工法のマニュアルに基づき、振動コンパクタや小型振動ローラなどを用い人力で行われているかを確認。	施工計画書 施工写真	3-1-15-3
	⑪壁面調整	・ターンバックルを用いた壁面調整が行われているか、また、壁面変位が観測された場合は監督員と協議しているかを確認。	施行写真 協議書	3-1-15-3
2. 出来形	①規格値の確認	・河川等と道路改良の管理基準は違うので、どちらの規格値を使用しているかを確認。	施工計画書	共通仕様書Ⅱ記載
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①土の締固め試験	・当初及び土質変化時に試験がおこなわれているか。 また、回数やデータが良好かを確認。	試験成績表	共通仕様書Ⅱ記載
	②外観検査	・ストリップ、鋼製壁面材、コンクリート製壁面材の外観検査は行われているか。また、その結果は良好かを確認。	施工写真 出来形管理記録	共通仕様書Ⅱ記載
	③コンクリート強度試験	・コンクリート製壁面材において、コンクリートの強度試験が行われているか。また、その結果は良好かを確認。	品質管理報告書	共通仕様書規定外
	④土の粒度試験	・必要に応じて粒度試験を実施しているかを確認。	試験成績書	共通仕様書Ⅱ記載
	⑤現場密度の測定	・決められた試験方法や試験回数で規格値を満たしているかを確認。 (3孔/回の最低値)1500㎡未満は3回以上	試験成績書	共通仕様書Ⅱ記載
【1-15-4 井桁ブロック工】				
1. 施工状況	①組立て	・法尻から順序よく施工されているかを確認。	施工写真	3-1-15-4
	②中詰め石	・中詰めに土砂が混入していないかを確認。	施工写真、現地検視	3-1-15-4
	③吸出し防止材	・背後地山と接する箇所に、吸出し防止材が施工されているかを確認。	施工写真	3-1-15-4

第4編 道路編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第1章 道路改良				
【1-9 カルバート工】 [1-9-6 場所打函渠工]				
1. 施工状況	①施工計画書の記載	・1回(1日)のコンクリートの打設高さが、施工計画書に記載されているかを確認。	施工計画書	4-1-9-6
	②目地材及び止水板	・目地材及び止水板の施工において、付着・水密性が保たれているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-9-6
[1-9-7 プレキャストカルバート工]				
1. 施工状況	①設置	・基礎と密着し、接合面が食い違わないよう、下流側または低い側から設置されているかを確認。	施工写真	4-1-9-7 3-1-3-28
【1-10 排水構造物工(小型水路工)】				
水路工(共通)				
1. 施工状況	①盛土、埋戻し	・開水路等にあつては、偏圧により水路側壁に亀裂、はらみ出しのおこらないよう十分に注意して施工しているかを確認。	施工写真	4-1-10-2 3-1-3-3
[1-10-3 側溝工]				
1. 施工状況	①設置	・下流側または低い方から設置されているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-3
		・底面が滑らかで一様な勾配になっているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-3
		・継目部に段差がなく、付着、水密性を保っているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-3
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・延長について、設計図書に測定位置が明示されていない場合は、測定物の中心線延長を測定しているかを確認。	施工写真 出来形管理記録	共通仕様書規定外
[1-10-4 管渠工]				
1. 施工状況	①設置	・基礎と密着し、接合面が食い違わないよう、下流側または低い側から設置されているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-4
		・底面は滑らかで一様な勾配になっているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-4
		・継目部の施工については、付着、水密性を保っているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-4
[1-10-5 集水樹・マンホール工]				
1. 施工状況	①設置	・小型水路工等との接続部に漏水がないかを確認。	現地検視	4-1-10-5
		・蓋の設置について、本体及び路面と段差がないかを確認。	現地検視	4-1-10-5
[1-10-6 地下排水工]				
1. 施工状況	①埋戻し	・排水管の目づまり、有孔管の穴が詰まらないように埋戻しされているかを確認。	現地検視	4-1-10-6
[1-10-7 現場打水路工]				
1. 施工状況	①設置	・下流側または低い方から設置されているかを確認。	施工写真	4-1-10-7
		・底面が滑らかで一様な勾配になっているかを確認。	現地検視	4-1-10-7
		・蓋の設置について、路面または水路と段差がないかを確認。	現地検視	4-1-10-7

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条	
[1-10-8 排水工(小段排水・縦排水)]					
1. 施工状況	①設置	・下流側または低い方から設置されているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-8	
		・底面が滑らかで一般的な勾配になっているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-8	
		・継目部に段差がなく、付着、水密性を保っているかを確認。	施工写真 現地検視	4-1-10-8	
第4章 鋼橋上部					
1. 施工状況	①工場製作工	・原寸、工作、溶接、仮組立に関する事項が、施工計画書に記載し提出されているかを確認。	施工計画書	4-4-3-1	
	②鋼板材料確認	・鋼材にJISマーク表示のないものについては以下のとおり確認しているかを確認。 ①鋼材にロット番号等が記され、これに対するミルシート等が添付されているものは、ミルシート等による品質確認及び現物による員数、形状寸法確認。 ②ロット番号等が不明で、ミルシート等との照合が不可能なもののうち、主要構造部材として使用する材料について、機械試験による品質確認及び現物による員数、形状寸法確認。 ③上記以外の材料については、現物による員数、形状寸法確認。	品質規格証明書 試験成績表 性能試験結果 ミルシート等 施工写真	4-4-3-2 3-1-12-2	
		③工場塗装工	・塗料の可使時間の基準を遵守しているかを確認。	工事日誌、施工写真	4-4-3-2 3-1-12-2
			・工場塗装終了後、塗膜厚検査を行って記録を作成し、検査時に提出しているかを確認。	塗膜厚測定結果記録表	4-4-3-13 3-1-12-11
	④検査路製作工	・検査路、昇降梯子、手摺等は溶融亜鉛めっき処理を行っているか確認。	施工写真	4-4-3-4 3-1-12-4	
	⑤伸縮継手製作工	・フェースプレートのフィンガーは一度切りか。 二度切りの場合には間隔を10mm程度あけているかを確認。	施工写真	4-4-3-5 3-1-12-5	
	⑥架設工	・下部工の橋座高及び支承間距離の検測を行い、監督員に結果を提出しているかを確認。	提出書	4-4-5-1	
		・架設計画書が提出されているかを確認。	架設計画書	共通仕様書規格外 準拠1-1-1-7	
		・地組立てに使用する仮締めボルトとドリフトピンの合計は、その箇所の連結ボルト数の1/3程度を用いるのを標準とし、そのうち1/3以上をドリフトピンとしているかを確認。(架設応力に耐えるだけの仮締めボルトとドリフトピンを使用)	架設計画書 施工写真	4-4-5-3 3-1-13-2	
		・本締めに先立って、橋の形状が設計に適合するかどうかを確認し、その結果を監督員に提出しているかを確認。	結果報告書	4-4-5-3 3-1-13-2	
		・架設にベントを使用する場合、ベント設備・ベント基礎について、架設前に設置位置の地耐力の安全性を確認しているかを確認。	架設計画書	4-4-5-4 -5,-7,-8 他出典省略	
		⑦現場継手工	・高力ボルト継手の接合を摩擦接合とし、接合される材片の接触面を0.4以上のすべり係数が得られるように処理を施しているかを確認。	施工写真	4-4-5-11 3-1-3-23
			・ボルトの締付けを適切に行っているかを確認。	施工写真	4-4-5-11 3-1-3-23
			・ボルトの締付けは、連結板の中央のボルトから順次端部ボルトに向かって行い、2度締めを行っているかを確認。	施工写真	4-4-5-11 3-1-3-23
	・予備締め後にボルトナット及び座金にマーキングを行っているかを確認。		施工写真 現地検視	4-4-5-11 3-1-3-23	
	⑧現場溶接工	・溶接のアークが、風による影響を受けないように防風設備を設置しているかを確認。(溶接現場の気象条件を確認)	施工写真 工事日誌	4-4-5-11 3-1-3-23	
	⑨現場塗装工	・海岸地域に架設又は保管されていた場合等で、部材に塩分の付着が懸念された場合は塩分付着量の測定を行い、NaClが50mg/m ² 以上の時は水洗いをしているかを確認。	試験成績書 施工写真	4-4-6-3 3-1-3-31	
		・塗布作業時の気象条件等を遵守しているかを確認。 (塗装禁止条件例: 気温5℃以下、湿度85%以上)	施工写真 工事日誌	4-4-6-3 3-1-3-31	
		・溶接や余熱による熱影響で、塗膜劣化する可能性がある現場溶接部近傍に塗装を行っていないかを確認。	施工写真	4-4-6-3 3-1-3-31	
		・コンクリートとの接触面の塗装を行っていないかを確認。(プライマーを除く。) また、主桁や縦桁上フランジ等のコンクリート接続部はさび汁による汚れを考慮し無機ジンクリッチペイントを30μm塗布しているかを確認。	施工写真 塗膜厚測定結果記録表	4-4-6-3 3-1-3-31	
		・受注者が塗布作業の開始前に塗料の出荷証明書、塗料成績表の確認をしているかを確認。	社内検査書	4-4-6-3 3-1-3-31	

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
	⑩床版工	・床版コンクリートの打設順序、打設設備等について施工計画書に記載されているかを確認。	施工計画書	4-4-7-1
		・スパーサーは、コンクリート製若しくはモルタル製（本体コンクリートと同等の品質）を使用しているかを確認。 スパーサーは1㎡当たり4個を目安として配置し、組立又はコンクリート打設中、その形状が保たれているかを確認。	施工写真 施工計画書	4-4-7-1 3-1-18-2
		・単純桁の床版コンクリートは、連続して打込んでいるかを確認。やむを得ず打継目を設ける必要がある場合は監督員の承諾を得ているかを確認。	施工写真 承諾書	4-4-7-1 3-1-18-2
		・橋軸方向に並行な打継目を作っていないかを確認。	施工写真	4-4-7-1 3-1-18-2
		・橋軸直角方向に一直線状になるように打設しているかを確認。	施工写真	4-4-7-1 3-1-18-2
		・打設後、所定の期間、適切な養生を行っているかを確認。	施工写真 品質管理	1-3-6-9
		・鋼製伸縮継手フェースプレート下部に、空隙が生じないように箱抜をして無収縮モルタルにより充填しているかを確認。	施工写真	4-4-7-1 3-1-18-2
		・床版コンクリート打設前においては主桁のそり、打設後においては床版の基準高を測定し、その記録を検査時に提示しているかを確認。	測定記録簿	4-4-7-1 3-1-18-2
	⑪伸縮装置工	・伸縮装置の据付けは、施工時の気温を考慮して温度補正を行って据付位置を決定し、監督員に報告しているかを確認。	報告書	4-5-13-2 3-1-3-24
		・伸縮装置に用いるシール材及びバックアップ材の種類について、監督員の承諾を得ているかを確認。	承諾書	4-5-13-2 3-1-3-24
		・鋼製伸縮装置の製作においては、床版施工時期を考慮して伸縮量及び遊間量を計算し、仮付けを行っているかを確認。	施工写真	4-5-13-2 3-1-3-24
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①橋梁用防護柵製作工	・（亜鉛めっき後に塗装仕上げをする場合） 亜鉛の付着量がJIS G 3302 Z27の275g/m ² （両面付着量）以上となっているか、仕上塗装は熱化性アクリル樹脂塗料を用いて20μm以上の塗膜厚となっているかを確認。	施工写真 塗膜厚測定結果記録表	4-5-13-5 4-4-8-6 3-1-3-2
		・（亜鉛めっき地肌のままの場合） ビーム、パイプ、ブラケット、パドル、支柱は亜鉛の付着量をJIS H 8641 2種のHDZ55の550g/m ² （片面付着量）以上となっているか、その他の部材（ケーブルを除く）は2種のHDZ35の350g/m ² （片面付着量）以上となっているかを確認。	施工写真 塗膜厚測定結果記録表	4-5-13-5 4-4-8-6 3-1-3-2
	②現場継手工	・ボルトの締付け確認を行い、その記録を検査時に提出されているかを確認。 ①トルク法による場合は各ボルト群の10%のボルト本数を標準としてトルクレンチによって締付け確認を行う。 ②トルシア形高力ボルトの場合は、全数につきピンテールの切断の確認とマーキングによる外観確認を行う。 ③回転法及び耐力点法による場合は、全般についてマーキングによる外観確認を行う。	締付確認記録 施工写真	4-4-5-11 3-1-3-23
	③現場塗装工	・同一工事、同一塗装系、同一塗装方法により塗装された500㎡毎に25点（1点当たり5回測定）以上塗膜厚の測定を行っているかを確認。 （200㎡以上500㎡未満の場合は25点。） （200㎡に満たない場合は10㎡ごとに1点。） なお、塗膜厚測定器として電磁膜厚計を使用しているかを確認。	施工写真 塗膜厚測定結果記録表 施工計画書	4-4-6-3 3-1-3-31

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第5章 コンクリート橋上部				
1. 施工状況	①非破壊試験	・設計図書において非破壊試験の対象工事と明示された場合は、非破壊試験により配筋状態及びひかぶり測定を実施しているかを確認。非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びひかぶり測定要領」に従って行う。	測定結果表	4-5-1
		・設計図書において、微破壊・非破壊試験の対象工事と明示された場合は、微破壊または非破壊試験によりコンクリートの強度測定を実施しているかを確認。微破壊・非破壊試験は「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」に従って行う。	測定結果表	4-5-1
	②工場製作工(プレビーム用桁等鋼製部分)	・原寸、工作、溶接、仮組立に係わる事項が施工計画書に記載されているかを確認。	施工計画書	4-5-3-1
		・JIS B 7512(鋼製巻尺)の1級に合格した鋼製巻尺を使用し、温度補正を行っているかを確認。	施工写真	4-5-3-1
		・プレビーム用桁の製作加工において、仮組立てを行っていないかを確認。	施工写真	4-5-3-2 3-1-12-9
		・プレビーム用桁製作後長期間仮置きする場合は、ジンクリッチプライマーにより塗装を行っているかを確認。	施工写真	4-5-3-2 3-1-12-9
	③PC橋工一般事項	・使用材料、施工方法、主桁製作設備、型枠、労務計画、安全衛生計画、試験並びに品質管理計画等について施工計画書に記載されているかを確認。	施工計画書	4-5-5-1
		・下部工の橋座高及び支間距離の検測を行い、監督員に結果を提出しているかを確認。	提出書 施工写真	4-5-5-1
		・架設に用いる仮設備及び架設用機材について、工事目的物の品質、性能に係る安全性が確保できる規模と強度を有していることを確認しているかを確認。	提出書	4-5-5-1
		・PC鋼材両端のねじの使用については、JIS B 0205(一般用メートルねじ)に適合する転造ねじを使用しているかを確認。	施工写真 材料承諾	4-5-5-1
	④プレテンション桁製作工(購入工)	・プレテンション桁の購入は、JISマーク表示認証製品を製造している工場において製作されたものかを確認。	施工計画書	4-5-5-2 3-1-3-12
	⑤ポストテンション桁製作工	・桁の荷重を直接受けている部分の型枠の取り外しは、プレストレス導入後に行っているかを確認。	施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
		・プレストレスの導入に先立ち、下記の試験に基づき監督員に緊張管理計画書を提出しているかを確認。 ①引張装置のキャリブレーション ②PC鋼材のプレストレスの管理に用いる摩擦係数及びPC鋼材の見かけのヤング係数を求める試験	緊張管理計画 試験成績書	4-5-5-3 3-1-3-13
		・プレストレスの施工について、順序、緊張力、PC鋼材の拔出し量、緊張の日時及びコンクリートの強度等の記録を整備して、検査時に提出しているかを確認。	記録簿	4-5-5-3 3-1-3-13
		・グラウトの施工については、ダクト内に圧縮空気を通し導通があること及びダクトの気密性を確認した後、圧力が高くなりすぎないように管理してゆっくり、排出口より一様な流動性のグラウトが流出したことを確認して作業完了としているかを確認。	施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
		・主桁を仮置きする場合、仮置きした主桁に過大な応力が生じないように支持するとともに、横倒れ防止処置を行っているかを確認。	施工計画書 施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
		・桁高が1.5m以上の主桁を製作する場合、コンクリート打設、鉄筋組立て等のための足場を設置しているかを確認。	施工計画書	4-5-5-3 3-1-3-13
	⑥プレキャストセグメント主桁組立工	・ブロックの取卸しは、特にブロック接合面の損傷に対して十分な保護を行っているかを確認。	施工写真	4-5-5-5 3-1-3-14
		・ブロックの接合に用いる接着剤は、エポキシ樹脂系接着剤で強度、耐久性及び水密性がブロック同等以上であり、品質規格基準を満足するものを使用しているかを確認。 なお、エポキシ樹脂系接着剤は、室内で密封し原則6ヵ月以上経過したものを使用していないことを確認。	材料承諾 試験成績書	4-5-5-5 3-1-3-14
		・雨天時に作業を行っていないことを確認。	施工写真	4-5-5-5 3-1-3-14
		・グラウトの施工は、接着剤が硬化した後に行っているかを確認。	施工写真	4-5-5-5 3-1-3-14
	⑦プレビーム桁製作工(現場)	・鋼桁のプレフレクションに先立ち、載荷装置のキャリブレーションを実施し、プレフレクション管理計画書を提出しているかを確認。	管理計画書	4-5-6-2
		・ブロック工法の添接部下フランジコンクリートには、膨張コンクリートを使用しているかを確認。	施工計画書 施工写真	4-5-6-7
		・横桁部材の連結には、高力ボルトを使用しているかを確認。	施工写真	4-5-6-8
	⑧PCホーラスラブ製作工	・円筒型枠の施工については、コンクリート打設時の浮力に対して必要な浮き上がり防止装置を設置しているかを確認。	施工写真	4-5-7-4 3-1-3-15

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真、現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①プレテンション桁製作工(購入工)	・プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度は、30N/mm ² 以上であることを確認して製作されたものかを確認。	材料承認	4-5-5-2 3-1-3-12
		・蒸気養生の場合、コンクリート打込み後2時間以上経過してから加熱を始め、養生室の温度上昇は1時間当たり15度以下とし養生中の温度は65度以下として製作されたものかを確認。	材料承認	4-5-5-2 3-1-3-12
	②ポストテンション桁製作工	・プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、プレストレッシング直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度の1.7倍以上であることを確認しているかを確認。	試験成績書 施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
		・プレストレッシング時の定着部付近のコンクリートが、定着により生じる支圧応力度に耐える強度以上であることを確認しているかを確認。	試験成績書 施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
		・グラウト材料は下記の規定によるものを使用しているかを確認。 ①セメントはJIS R 5210に適合する普通ポルトランドセメントを標準とする。 ②グラウトはノンブリージングタイプを使用する。 ③グラウトの水セメント比は45%以下とする。 ④グラウトの材齢28日圧縮強度は30.0N/mm ² 以上とする。 ⑤グラウトはの体積変化率は±0.5%以下の範囲内とする。 ⑥グラウトのブリーディング率は、24時間後0.0%とする。 ⑦グラウト中の塩化物イオン量は、普通ポルトランドセメント質量の0.08%以下とする。 ⑧混和剤の気温や流動性に対する適用性の検討。	試験成績書	4-5-5-3 3-1-3-13
		・寒中グラウトの施工にあたっては、注入前にダクト周辺の温度を5℃以上にし、注入時のグラウトの温度は10～25℃を標準として、グラウト温度は注入後少なくとも3日間は5℃以上に保たれているかを確認。	温度管理表	4-5-5-3 3-1-3-13
		・暑中グラウトの施工については、グラウトの温度上昇、過早な硬化等がないように材料及び施工について事前に監督員の承諾を得ているかを確認。 なお、注入時のグラウト温度35℃を超えていないことを確認。	承諾書 施工写真	4-5-5-3 3-1-3-13
	③プレビーム桁製作工(現場)	・リリースを行うときの下フランジコンクリートの圧縮強度は、リリース直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度が圧縮強度の0.6倍以下で、かつ設計基準強度の90%以上であることを確認しているかを確認。	試験成績書	4-5-6-2
		・リリース時のコンクリートの材齢は、5日以上としているかを確認。 ただし、蒸気養生等特別な養生を行う場合は、その養生方法等を監督員に提出の上、最低3日以上確保しているかを確認。	施工写真	4-5-6-2
		・リリース時導入応力の管理は、プレビーム桁のたわみ量により行い、たわみ量の許容値は設計値に対して±10%で管理しているかを確認。	試験成績書	4-5-6-2

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第6章 トンネル(NATM)				
1. 施工状況	①観察・計測記録	・坑内観察調査、内空変位測定、天端沈下測定及び地表沈下測定が行われているかを確認。	トンネル掘削日報	4-6-1
	②吹付コンクリート工	・吹付コンクリートの一層の厚さは、15cm以下で施工しているかを確認。	施工写真	4-6-4-3
		・鋼製支保工がある場合、吹付コンクリートと鋼製支保工が一体となるように吹付けられているかを確認。	出来形管理記録	4-6-4-3
	③金網工	・金網の継目は15cm(一目以上)以上重ね合わされているかを確認。	施工写真	4-6-4-6
	④支保工	・鋼製支保工はSS400材相当品以上のものが使用されているかを確認。	品質証明書施工写真	4-6-4-2
2. 出来形	①表面の出来ばえ	・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視、検測 施工写真	共通仕様書規定外
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①ロックボルト工	・モルタルの圧縮強度試験・フロー値試験及びロックボルト引抜き試験が行われているかを確認。	試験成績表 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
	②覆工・吹付コンクリート工	・スランプ試験・単位水量測定・圧縮強度試験・塩化物総量規制・空気量測定・テストハンマー強度試験、吹付けコンクリートの初期強度試験が行われているかを確認。	試験成績表 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
第7章 コンクリートシェッド工				
1. 施工状況	①プレキャストシェッド桁等部材購入工	・プレキャストシェッドを購入する場合は、設計図書に示された品質、規格を満足したものであるかを確認。	品質規格証明書	4-7-4-2
	②横締め工	・プレストレスの導入に先立ち、緊張管理計画書が提出されているかを確認。	緊張管理計画書	4-7-4-6
		・プレストレッシング施工について、順序、緊張力、PC鋼材の拔出し量、緊張の日時等の記録が整備されているか確認。	試験報告書	4-7-4-6
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	試験成績書 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①防水工	・防水工の接合部や隅角部における増貼部等において、防水材相互が充分密着しているか確認	施工写真	4-7-4-7
第8章 鋼製シェッド工				
1. 施工状況	①工場製作工	・原寸、工作、溶接等に関する事項が、施工計画書に記載し提出されているかを確認。	施工計画書	4-8-3-1
	②鋼板材料確認	・鋼橋上部と同じ。	品質規格証明書 施行写真	4-8-3-2 3-1-12-2
		・鋼橋上部と同じ。	工事日誌、施工写真 塗膜厚測定結果記録表	4-8-3-7 3-1-12-11
	④受台工	・鉄筋を露出した状態で工事を完了する場合は、防錆のため鉄筋にモルタルペーストを塗布しているかを確認。	施工写真	4-8-5-6
		・支承部を箱抜きした状態で工事を完了する場合は、箱抜き部分に中詰め砂を入れて薄くモルタル仕上げしているかを確認。	施工写真	4-8-5-6
	⑤架設工	・沓座高及び支承間距離等の検測を行い、その結果を監督員に提出しているかを確認。	提出書 施工写真	4-8-6-3
		・その他鋼橋上部と同じ。		4-8-6-3 4-4-5-2 3-1-13-2 3-1-13-3
	⑥現場継手工	・鋼橋上部と同じ。		4-8-6-4 3-1-3-23
	⑦現場塗装工	・鋼橋上部と同じ。		4-8-6-5 3-1-3-31
		・コンクリートの締め固め時に、溶接金網をたわませたり移動させたりしてはいないかを確認。	施工写真	4-8-6-6
	⑧屋根コンクリート工	・溶接金網は重ね継手とし、20cm以上重ね合わせているかを確認。	施工写真	4-8-6-6
		・溶接金網の重ねは、焼なまし鉄線で結束してあるかを確認。	施工写真	4-8-6-6
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①現場継手工	・鋼橋上部と同じ。		4-8-6-4 3-1-3-23
	②現場塗装工	・鋼橋上部と同じ。		4-8-6-5 3-1-3-31

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書 I 編-章-節-条
第12章 電線共同溝 第13章 情報ボックス				
3. 品質	①ハンドホール工	・ハンドホールと保護管等との接合部において、セメントと砂の比が1:3のモルタルを使用しているか確認する。	試験成績書	4-12-6-2 3-1-3-21
第14章 道路維持				
【14-4 舗装工】【1-6舗装工と共通】				
【14-17 現場塗装工】				
1. 施工状況	①橋りょう塗装工	・海岸地域等で、塩分付着が予想される地域において、塩分測定を実施しているか確認する。(NaCl50mg/㎡以上の場合、水洗いが必要)	試験成績書 施工写真	4-14-17-3
第15章 道路修繕				
【15-8 防護柵工】				
1. 施工状況	①路側防護柵工 ガードレール	・ガードレールの取り付けが、自動車進行方向に対してビーム端の小口が見えないように重ね合わせ、ボルト・ナットで十分締め付けているかを確認。	施工写真 現地検測	共通仕様書規定外
	②路側防護柵工 ガードケーブル	・ケーブルにねじれはないか。 所定の張力(Aは20KN,B及びC種は9.8KN)はあるかを確認。	施工写真 現地検測	4-15-8-3 3-1-3-8
2. 出来形	①支柱	・支柱が沈下していないか。 位置が設計図書に定められた位置に設置されているか。	目視、検測	4-15-8-3 3-1-3-8
3. 品質	① 材料	・設計図書に基づいているか。	ミルシート	共通仕様書規定外
【15-18 落石雪害防止工】			共仕: p277,p469	
1. 施工状況	①落石防止網工	・金網は法面に馴染みよく被覆させ、網目に変形しないよう適度に張られているか、ロープ(縦、横)、金網の連結は適切であるかを確認。	施工写真 現地検測	共通仕様書規定外
	②落石防護柵工	・端末支柱、中間支柱の立て込み位置(設計図書に基づいているか、ズレ)、ワイヤーロープと金網の設置状況が適切かを確認。	施工写真 現地検測	共通仕様書規定外
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書規定外
3. 品質	① 材料	・設計図書に基づいているか。	ミルシート	共通仕様書規定外
第16章 消雪工				
1. 施工状況	①さく井工	・掘削中地質構成が変わるごとに地質標本を採取し、地質柱状図を作成し提出しているかを確認。	地質柱状図	4-16-1-1
		・掘削中または掘削完了後に電気検層を行い、掘削深度及びストレーナー位置を決定しているかを確認。	電気検層図	4-16-1-1
	②ケーシング工	・ケーシングパイプは、掘削孔の中心に垂直に建て込まれ、ガイド金物(センタライザー)が等間隔に取り付けられているかを確認。	施工写真	4-16-1-2
		・ケーシングパイプの底部は、井戸底土砂の吸い上げ防止のためのボトム処理が施されているかを確認。	施工写真	4-16-1-2
		・ケーシングパイプの接合は、漏水及び継ぎ折れのないように垂直に接合しているかを確認。 鋼管・・・溶接接合を標準とし、必要に応じてパッチ(継手板)で補強する。 樹脂管等・・・接着剤またはねじ込みによる接合とし、必要に応じて補強する。	施工写真	4-16-1-2
		・ストレーナーの位置に関し、周辺井戸の状況、地質柱状図、地質標本、電気検層図等の資料を基に協議しているかを確認。	施工写真	4-16-1-2
	③揚水機工	・揚水管の接続は、鋼管の場合呼び径150A以下の場合はねじ込み式またはフランジ継手とし、呼び径150Aを超える場合はフランジ継手としているかを確認。	施工写真	4-16-1-4
		・非金属の揚水管の場合はねじ込み式とし、ゆるみ、脱落が生じない構造としているかを確認。	施工写真	4-16-1-4
		・揚水機の設置位置について、監督員と協議しているかを確認。	協議書	4-16-1-4
	④電気工	・第9編 電気通信設備編による。		4-16-1-5
		・配管の接合は、鋼管の場合ねじ込み式またはフランジ継手を標準とし、樹脂管の場合は接着剤または電気融着等により行われているかを確認。	施工写真	4-16-1-6
		・砂塵や管内泥水等による管路や散水ノズルの閉塞を防止するため、管路の要所に排水用ドレーンが設置されているかを確認。	施工写真	4-16-1-6
		＜散水消雪施設＞		
		・埋設方式における本線配管および散水配管、散水ノズルはコンクリートで保護し、その設置高は計画路面に合っているかを確認。	施工写真	4-16-1-6
		・露出方式の場合は、管路をバンドやUボルトにて確実に固定してあるかを確認。	施工写真	4-16-1-6
		＜無散水消雪施設＞		
		・放熱管の据付は、必要に応じてスペーサーを使用し規定の深さに埋設されているかを確認。	施工写真	4-16-1-6
	⑥操作盤工	・電動機出力が1.5kw以上のものは、個々に進相コンデンサが設けられているかを確認。	資材承認図書	4-16-1-7
		・電動機容量が11kw未満の場合は直入始動方式、11kw以上の場合はスターデルタ始動方式となっているかを確認。	資材承認図書	4-16-1-7
		・機側操作盤の扉前面に、銘板が取り付けられているかを確認。	施工写真	4-16-1-7

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また、測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来形管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書規定外
		・管理基準値は、協議により定められているかを確認。（参考資料：機械工事施工管理基準（案）（令和2年3月国土交通省））	協議書	共通仕様書規定外
	②揚水試験	＜予備水位＞ ・揚水量、揚水水位、濁度、揚砂の有無等を確認する予備揚水試験が行われていることを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
		＜段階試験＞ ・揚水量を5段階程度に等分して行い、限界揚水量が求められた段階揚水試験が行われていることを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
		＜連続揚水＞ ・適性揚水量を連続8時間以上揚水した連続揚水試験が行われていることを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
		＜回復試験＞ ・連続揚水試験終了後、井戸内水位を2時間以上測定した回復試験を行っていることを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
		・揚水量の測定方法は、直角三角せきまたは四角せきにより行っているか。また、水温の測定は常時行っているかを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
		・必要に応じて水質試験を行っているかを確認。	試験結果報告書	4-16-1-3
3. 品質	①材料及び機能	・材料の規格及び機器の機能試験は、設計図書に基づいているかを確認。（参考資料：機械工事施工管理基準（案）（令和2年3月国土交通省））	出荷証明書 試験成績表	共通仕様書規定外
	②ケーシング工	・ケーシングパイプの材料は、設計図書に基づいているかを確認。	資材承認図書	4-16-1-2
	③揚水機工	・揚水機の形式および仕様は、設計図書に基づいているかを確認。	機材の試験成績書	4-16-1-4
		・揚水管に使用する材料は、設計図書に基づいているかを確認。	ミルシート	4-16-1-4
	④配管工	・配管材料は、設計図書に基づいているかを確認。	資材承認図書	4-16-1-6
	⑤操作盤工	・ポンプ操作は、降雪検知器等の制御信号による自動運転および手動運転が可能であり、必要に応じて遠方操作が行えるかを確認。	作動試験	4-16-1-7
		・降雪検知器は、降雪の有無および気温を検知し、作動のタイミング調整や自動・手動の切り替えができる構造としているかを確認。	作動試験	4-16-1-7
		・機側操作盤には、操作対象の電動機ごとに配線用遮断器および電機接触器が設けられているかを確認。	作動試験	4-16-1-7
		・機側操作盤の制御回路には、保護装置及び継電器類が設けられているとともに故障表示はランプ表示としているかを確認。	作動試験	4-16-1-7
	・操作盤の形状及び設置方法は、設計図書に基づいているかを確認。	作動試験	4-16-1-7	
第17章 透水性舗装工(歩行者系道路)				
1. 施工状況	①フェルター層	・路床土と混じらないよう人力または小型ブルドーザで敷きならし、小型ブルドーザによる敷きならしの場合はクローラで転圧し、仕上げられているかを確認。	施工写真	4-17-3-1
	②路盤工(クラッシャーまたは単粒度碎石)	・材料分離をおこなわないよう小型ブルドーザ、人力等で敷き均し、小型ローラーまたは振動コンパクタで転圧されているかを確認。	施工写真	4-17-3-1
	③透水性インターロッキングブロック舗装(クッション砂)	・舗装の勾配は必ず路盤面で確保し、クッション砂の厚さ調整で行ってはならない。 勾配をサンドクッション用砂で調整すると、不陸の原因となりやすい。	施工写真	4-17-3-3
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録	共通仕様書Ⅱ
3. 品質	① 材料 (粒度、品質)	・共通仕様書、設計図書に基づいているか	試験成績書	4-17-3-1 ～ 4-17-3-8
	②現場透水試験	・300mL/15sec以上	現地検視	共通仕様書Ⅱ
	③現場密度	・設計図書による・歩道箇所 ・参考：排水性舗装、透水性舗装 基準密度の94%以上	密度測定	共通仕様書Ⅱ

第5編 河川編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
第3章 樋門・樋管				
1. 施工状況	①仮締切工	・増水時に河積及び対岸への影響がないように設置しているかを確認。	施工計画書 協議書	共通仕様書規定外
	②仮水路	・内水排除のための断面(流下能力)を確保しているかを確認。	施工計画書 協議書	5-3-5-1
	③止水板	・基本的には塩化ビニル製、変位の大きな場合には、ゴム製を使い分けているかを確認。	試験成績書 施工写真	5-3-5-1
	④函(管)渠設置工	・基礎地盤の支持力を確認しているかを確認。	報告書 確認書	5-3-5-6
		・日頃から、水位・潮位の観測を実施しているかを確認。	報告書 確認書	5-3-1
		・施工中の躯体沈下確認のための定期的定点観測を実施しているかを確認。	報告書 確認書	5-3-5-6
		・ソケット付きの管布設の場合、上流側または高い側にソケットを向けているかを確認。	施工写真	5-3-5-6
		・コンクリートまたはモルタルを充填した管の下面及びカラー周囲に空隙或いは漏水がないか確認。	施工写真 現地検視	5-3-5-6
		・コルゲートパイプの布設については、砂質土または砂を基床及び裏込め土としているか確認。	施工写真 試験報告書	5-3-5-6
		・コルゲートパイプの接合部は両側となっているか、底部・頭頂部で行っていないか、ボルトの緩みはないかを確認。	施工写真	5-3-5-6
		・鋼管等の布設で現場溶接を施工する前に、溶接に伴う収縮、変形、拘束等が全体や細部の構造に与える影響について検討しているかを確認。	報告書 確認書	5-3-5-6
		・ダクトイル鉄鉄管の布設については、設計図書に明示された継手を使用しているかを確認。	施工写真 試験報告書	5-3-5-6
	⑤翼壁工	・設計図書に示された、止水板及び伸縮材で本体との継手を施工し、水密性が確保できているかを確認。	施工写真 現地検視	5-3-5-7
	⑥水叩工	・設計図書に示された、止水板及び伸縮材で床版との継手を施工し、水密性が確保できているかを確認。	施工写真 現地検視	5-3-5-8
2. 出来形	①表面の出来ばえ	・コンクリート表面にジャンカ、クラック、ブリージングの痕跡がないかを確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検視	共通仕様書Ⅱ
3. 品質	①品質管理	・品質管理書からコンクリートの強度、スランプ、空気量、塩化物総量、アルカリ骨材反応対策、単位水量等は設計図書と対比して適切かを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書Ⅱ
	②圧縮強度試験	・重要構造物(大規模樋門・樋管)については、公的試験機関で試験を実施したかを確認。	試験成績書	共通仕様書Ⅱ
	③水密試験	・全閉時の漏水がないかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外
	④作動試験	・設計図書の仕様どおり作動するかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外
第4章 水門				
1. 施工状況	①工場製作工	・鋼材の材料確認が行われているかを確認。	試験成績書 確認書	5-4-3-2 3-1-12-2
	扉体・戸当り・開閉装置 鋼製付属設備等	・設計図書のとおりに溶接検査を実施しているかを確認。	報告書 確認書	3-1-12-3
		・塗料の可使時間は遵守されているか。	報告書 確認書	3-1-12-2
		・めっき後に塗装する場合めっき面に適切な下地処理を行っているかを確認。	報告書 確認書	3-1-12-7
	②仮締切工	・増水時に河積及び対岸への影響がないよう堤防機能が保持できる構造物か確認。	施工計画書 協議書	5-4-6-1
	③仮水路	・内水排除のための断面(流下能力)を確保しているかを確認。	施工計画書 協議書	5-4-6-1
	④水門設置工	・基礎地盤の支持力を確認しているかを確認。	報告書 確認書	5-4-6-4 5-4-6-5 3-1-4-4 3-1-4-5
		・必要に応じ、水位・潮位の観測を実施しているかを確認。	報告書 確認書	5-4-6-1
		・床版、堰柱、門柱、操作台は、コンクリート打設にあたって1ブロックを打ち継ぎ目なく連続打設をしているかを確認。	施工写真	5-4-6-7 ～ 5-4-6-10
		・基本的には塩化ビニル製、変位の大きな場合には、ゴム製を使い分けているかを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書規定外
	⑥胸壁工	・水門本体と一体とした構造となっているかを確認。	施工写真 現地検視	5-4-6-11
	⑦翼壁工	・水門本体と分離した構造となっているかを確認。	施工写真 現地検視	5-4-6-12
		・設計図書に示された、止水板及び伸縮材で本体との継手を施工し、水密性が確保できているかを確認。	施工写真 現地検視	5-4-6-12
	⑧水叩工	・設計図書に示された、止水板及び伸縮材で床版との継手を施工し、水密性が確保できているかを確認。	施工写真 現地検視	5-4-6-13

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
2. 出来形	①表面の出来ばえ	・コンクリート表面にジャンカ、クラック、ブリージングの痕跡がないかを確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録	共通仕様書Ⅱ
3. 品質	①品質管理	・品質管理書からコンクリートの強度、スランプ、空気量、塩化物総量、アルカリ骨材反応対策、単位水量等は設計図書と対比して適切かを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書Ⅱ
	②圧縮強度試験	・重要構造物(大規模構造物)については、公的試験機関で試験を実施したかを 確認。	試験成績書	共通仕様書Ⅱ
	③水密試験	・全閉時の漏水がないかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外
	④作動試験	・設計図書の仕様どおり作動するかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外
第5章 堰				
1. 施工状況	①工場製作工 本体・開閉装置 鋼製付属設備等	・仕様材料の材料確認が行われているかを確認。	試験成績書 確認書	5-5-3-2 3-1-12-2
		・設計図書のとおりに溶接検査を実施しているかを確認。	報告書 確認書	5-5-3-3 ～ 5-5-3-9 5-5-3-12 3-1-12-3 ～ 3-1-12-8 3-1-12-10
		・塗料の可使時間は遵守されているか。	報告書 確認書	3-1-12-2
		・めっき後に塗装する場合めっき面に適切な下地処理を行っているかを確認。	報告書 確認書	3-1-12-7
	②仮締切工	・増水時に河積及び対岸への影響がないように設置しているかを確認。	施工計画書 協議書	共通仕様書規定外
	③仮水路	・内水排除のための断面(流下能力)を確保しているかを確認。	施工計画書 協議書	共通仕様書規定外
	④堰本体工	・基礎地盤の支持力を確認しているかを確認。	報告書 確認書	5-5-6-3、4
		・日頃から、水位・潮位の観測を実施しているかを確認。	報告書 確認書	5-5-1
		・床版、堰柱、門柱、ゲート操作台は、コンクリート打設にあたって1ブロックを 打ち継ぎ目なく連続打設をしているかを確認。	施工写真	5-5-6-8 ～ 5-5-6-13
	⑤止水板	・基本的には塩化ビニル製、変位の大きな場合には、ゴム製を使い分けている かを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書規定外
	⑥水叩工	・床付地盤と均しコンクリート、本体コンクリート、止水矢板との水密性は確保さ れているかを確認。	施工写真 現地検視	5-5-6-12
	⑦土砂吐工	・床付地盤と均しコンクリート、本体コンクリート、止水矢板との水密性は確保さ れているかを確認。	施工写真 現地検視	5-5-6-14
	⑧魚道工	・床付地盤と均しコンクリート、本体コンクリート、止水矢板との水密性は確保さ れているかを確認。	施工写真 現地検視	5-5-8-3
2. 出来形	①表面の出来ばえ	・コンクリート表面にジャンカ、クラック、ブリージングの痕跡がないかを確認。	施工写真 現地検視	共通仕様書規定外
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検視	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①品質管理	・品質管理書からコンクリートの強度、スランプ、空気量、塩化物総量、アルカリ骨材反応対策、単位水量等は設計図書と対比して適切かを確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書Ⅱ記載
	②圧縮強度試験	・重要構造物(大規模構造物)については、公的試験機関で試験を実施したかを 確認。	試験成績書	共通仕様書Ⅱ記載
	③水密試験	・漏水がないかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外
	④作動試験	・設計図書の仕様どおり作動するかを確認。	現地検視 試験報告書	共通仕様書規定外

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第6章 排水機場 第7章 床止め・床固め 第8章 河川維持工				
1. 施工状況	①施工計画書の記載	・機場本体工、沈砂池工及び吐出水槽工の施工において、既設堤防の開削、 仮締切、仮水路等の施工時期、順序及び構造について、施工計画書に記載さ れているかを確認。	施工計画書	5-6-4-1
	②根固めブロック工	・根固めブロックに製作数量等が確認できる記号を付しているを確認。	現地検視、検測 施工写真	5-7-5-4
		・各々のブロックを連結する場合、連結ナットが抜けないようにネジ山がつぶさ れているかを確認。	現地検視、検測 施工写真	5-7-5-4
	③河川除草工	・草の刈取り高は10cm以下で行われているかを確認。	施工写真 施工管理表	5-8-3-2
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載

第6編 河川海岸編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第3章 海域堤防(人工リーフ・離岸堤・潜堤)工				
1. 施工状況	①観測	・受注者は、工事期間中、1日1回は潮位観測が行われているか確認。	観測記録書	6-3-1
	②異常気象対策	・受注者は、台風等の異常気象に備えて施工前に、待避場所の確保及び待避施設の対策がとられているかを確認。	施行写真 施工計画書	6-3-1
	③基礎工	・不陸整正の施工にあたっては、表面を平坦に仕上げているかを確認。	施工写真 現地検視	6-3-3-1
		・突堤基礎の施工にあたっては、基礎地盤上に確実に定着しているかを確認。	施工写真 現地検視	6-3-3-1
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①吸出し防止工	・ふとんかごの中詰用栗石は、おおむね15～25cmで、網目より大きな天然石または割栗石を使用しているかを確認。	試験成績書	6-3-3-2
	②捨石工	・岩石の見掛比重・吸水率・圧縮強さ及び重量について確認。	試験成績書 施工写真	共通仕様書規定外
第4章 浚渫(海岸)				
1. 施工状況	①観測	・工事期間中、1日1回は潮位観測が行われているか確認。	観測記録書	6-4-1
	②標識設置	・浚渫の施工区域に標識及び量水標が設置されているか確認。	施工写真	6-4-3-1 6-4-4-1
2. 出来形	①浚渫数量の確認	・浚渫後の施工断面の測量結果の確認。	出来型管理記録	6-4-4-2 3-1-16-3
	②管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載

第7編 砂防編

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編-章-節-条
第1章 砂防堰堤				
【1-8 コンクリート堰堤工】				
1. 施工状況	①コンクリート堰堤工	・新コンクリートを打継ぐ時期が旧コンクリートの材令を満足しているかを確認。	工事日誌 伝票 施工写真	7-1-8-1
		・基礎面における湧水の処理について、コンクリートの施工前に協議しているかを確認。	協議書	7-1-8-1
		・コンクリートの打込み前にあらかじめ基礎岩盤面の浮石、堆積物、油及び岩片等を除去したうえで、圧力水等により清掃し、溜水、砂等を除去しているかを確認。	施工写真	7-1-8-4
		・水平打継目の処理については、圧力水等により、レイタンス、雑物を取り除き、コンクリート表面を粗にし、清掃しているかを確認。	施工写真	7-1-8-4
		・コンクリート打込用バケットの下端が打込面上1m以下であるか確認。	施工写真	7-1-8-4
		・1リフトの高さは0.75m以上2.0m以下で、同一区画内を連続して打設が行われているかを確認。	施工写真	7-1-8-4
		・植石張りがある場合は本体と分離しないように施工しているかを確認。	施工写真・打音検査	7-1-8-6
		・止水版接合完了後に監督員の確認を受けているかを確認。	施工写真	7-1-8-4
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①コンクリート堰堤工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
		・止水板の接合部における止水性が確保されているか確認。	目視	7-1-8-4

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
【1－9 鋼製堰堤工】				
1. 施工状況	①鋼製堰堤工	・鋼製枠に傷、サビ等がないものを使用しているかを確認。	材料検収写真	共通仕様書規定外
		・コンクリート部の施工が、コンクリート堰堤工に準じて行っているかを確認。	施工写真	7-1-9-5 7-1-8-4
		・作業土工(埋戻し)の際に、鋼製枠に敷き均しまたは締固め機械が直接乗らないようしているかを確認。	施工写真	7-1-9-5
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
		・塗膜厚検査一規格値を満足しているかを確認。	試験成績書 施工写真	7-1-9-10 3-1-3-31
3. 品質	①鋼製堰堤工	・塗装禁止条項を遵守して施工しているかを確認。	工事写真、管理表	7-1-9-10 3-1-3-31
		・下・中・上塗りの条件を満足した状態で施工しているかを確認。	工事写真、管理表	7-1-9-10 3-1-3-31
【1－10 護床工・根固工】				
1. 施工状況	①護床・根固工	・記号付けにより、数量および施工時の損傷の有無を確認。	施工写真	7-1-10-4 3-1-3-17
		・連結金具と、ねじ山つぶしを確認。	施工写真	7-1-10-4 3-1-3-17
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・かみ合わせの不良により、不安定になってる部分がないか確認	現地目視	7-1-10-4 3-1-3-17
		・沈床の結末は、完全におこなっているか確認	現地目視	7-1-10-6 3-1-3-18
3. 品質	①護床・根固工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
【1－11 砂防堰堤付属物工】				
1. 施工状況	①砂防堰堤付属物工	・銘板及び標示板を設計図書又は監督員の指示のとおり設置しているかを確認。	施工写真、現地検視	7-1-11-5
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・銘板が完全に固定されているか確認	目視、打音検査	共通仕様書規定外
		・境界杭(鉄)が正しく設置されたか確認	現地実測	7-1-11-4 3-1-3-34
		・境界杭(鉄)が設置後移動の可能性がないか確認	目視	3-1-3-34
		・銘板の内容を確認	目視	7-1-11-5
		・境界杭の文字の確認	目視	7-1-11-4 3-1-3-34
3. 品質	①砂防堰堤付属物工	・特記により指定がある場合は内容のミルシートの確認	品質証明書	共通仕様書規定外
【1－12 付帯道路工】				
1. 施工状況	①付帯道路工	・道路編と同じ		7-1-12
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・道路編と同じ		
3. 品質	①付帯道路工	・道路編と同じ		
【1－13 付帯道路施設工】				
1. 施工状況	①付帯道路施設工	・付帯道路と同じ		7-1-13
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・付帯道路と同じ		
3. 品質	①付帯道路施設工	・付帯道路と同じ		

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
第2章 流 路				
【2－4 流路護岸工】				
1. 施工状況	①コンクリート擁壁工	・コンクリート堰堤本体工と同じ		7-2-4-5 7-1-8-4
	②ブロック積擁壁工	・コンクリートブロック工と同じ		7-2-4-6 3-1-5-3
	③石積擁壁工	・石積(張)工と同じ		7-2-4-7 3-1-5-5
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
		・水抜き、目地、石の破損、について確認	目視	共通仕様書規定外
3. 品質	①品質管理	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
		・コンクリートの接合部における止水性が確保されているか確認。	目視	共通仕様書規定外
		・ブロック合端間隔の確認。(最大2cm程度)	目視	7-2-4-6 3-1-5-3
【2－5 床固め工】				
1. 施工状況	①床固め工	・コンクリート堰堤本体工と同じ		7-2-5-4 7-1-8-4
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①床固め工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
		・コンクリートの接合部における止水性が確保されているか確認。	目視	共通仕様書規定外
【2－6 根固め・水制工】				
1. 施工状況	①根固め・水制工	・記号付けにより、数量および施工時の損傷の有無を確認。	施工写真	7-2-6-4 3-1-3-17
		・連結金具と、ねじ山つぶしを確認。	施工写真	7-2-6-4 3-1-3-17
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・かみ合わせの不良により、不安定になってる部分がないか確認	現地目視	7-2-6-4 3-1-3-17
		・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①根固め・水制工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
【2－7 流路付属物設置工】				
1. 施工状況	①階段工	・階段工と同じ		7-2-7-2 3-1-3-22
	②防止柵工	・防止柵工と同じ		7-2-7-3 3-1-3-7
	③境界工	・境界工と同じ		7-2-7-4 7-1-11-4
	④銘板工	・銘板は最終点道路側の護岸天端付近、又は最終点が床固工、帯工の場合は道路に近い側の袖部の天端近くに設置しているかを確認。	施工写真、現地目視	7-2-7-5
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①階段工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
第3章 斜面对策				
【3－4 法面工】【1－5 法面工(道路改良)】と同じ				
【3－5 擁壁工】				
1. 施工状況	①現場打擁壁工	・無筋、鉄筋コンクリートと同じ		7-3-5-4 1-3
	②プレキャスト擁壁工	・プレキャスト擁壁工と同じ		7-3-5-5 3-1-15-2
	③補強土壁工	・補強土壁工と同じ		7-3-5-6 3-1-15-3
	④井桁ブロック工	・井桁ブロック工と同じ		7-3-5-7 3-1-15-4
	⑤落石防護工	・支柱基礎の施工で地盤をゆるめず、かつ滑動しないよう定着しているかを確認。	施工写真	7-3-5-8
・ワイヤーロープに初期張力を与えているかを確認。		施工写真	7-3-5-8	
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①現場打ち擁壁工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表 現地検測(テストハンマー)	共通仕様書Ⅱ記載
		・コンクリート表面にジャンカ、クラック、コールドジョイント、ブリージングの痕跡がないかを確認。	現地検視	共通仕様書規定外
【3－11 急傾斜地崩壊対策工】				
1. 施工状況	①排水工	・水抜きボーリング等の流水を排水路に直接流すよう施工しているかを確認。	現場写真、現地検視	7-3-11-3
	②現場打法枠工	・縦横枠が一体の構造となるよう施工しているかを確認。	現場写真	7-3-11-4
	③吹付け法枠工	・法面の雑草、木、浮石などをあらかじめ除去しているかを確認。	現場写真	7-3-11-5
	④アンカー工	・引張り材は傷つかないように扱っているか、ゴミ油等の不純物を清掃しているかを確認。	現場写真	7-3-11-6
2. 出来形	①管理基準及び規格値	・測定項目及び測定基準が適正か。 また測定結果が規格値を満足しているかを確認。	出来型管理記録 施工写真 現地検測	共通仕様書Ⅱ記載
3. 品質	①現場打ち法枠工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表	共通仕様書Ⅱ記載
	②吹きつけ法枠工	・スランプ・単位水量・圧縮強度・塩化物総量及び空気量試験等が行われているかを確認。	試験成績表	共通仕様書Ⅱ記載
	③アンカー工	・全アンカーに対して所定の荷重で引張り試験及び確認試験を実施しているかを確認。	管理記録、現地試験	7-3-11-6

第10編 ICT活用工事

区 分	項 目	内 容	確認資料・検測	共通仕様書Ⅰ 編・章・節・条
1. 施工状況	・福島県ICT活用工事実施要領による。			10-6-0-0
2. 出来形				
3. 品質				